北海道余市養護学校PTA広報誌

余　友　第1号

PTA広報委員会
令和6年12月23日発行

長かった2学期も今日で終わり、明日から冬休みです。

2学期の終わりに合わせ、令和6年度第1号のPTA広報誌「余友」を発行します。今年から、学校からお届けする他のお便りと同様に楽メでの配信となります。

今回は、1・2学期に行ったPTA活動の様子をお知らせします。活動に参加、感想をお寄せいただいた皆様、ありがとうございました。　（文責：広報担当　宮本）

PTA会長あいさつ

PTA会長　藤　原　智佳子

この度、十数年お世話になった学校への最後の奉仕として会長を務めることになりました。

思えば、もう卒業した長男が小学部4年の秋という中途半端な時期に、この学校に転校してきて早十数年。あの頃、まだ抱っこの穂乃佳とリードをつけて走り回っていた佳斗がもう高等部1年。時の経つのは早いものです。

この学校に来てたくさんの先生たち、先輩の保護者さん、同級・後輩の保護者さんと出会い、いろいろなことを学び、知ることができました。それは、間違いなく私の原動力の一つとなっています。まだまだ力不足ではありますが、楽しい活動をみなさんと一緒にできたら嬉しいです。

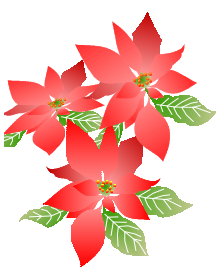
最後になりましたが、先生方、地域のみなさん、保護者のみなさん、それに児童生徒のみなさん、よろしくお願いします。

これからも保護者の皆様と一緒に

学校長　宮　岸　尚　平

早いもので、今年度も2学期が終わろうとしております。4月からここまで学校は毎日、子どもたちの元気な声と笑顔で活気付いております。

本校は、各学部において「子どもたちと地域で学び合う学習」が行われ、小学部では「よいスポ」の方を招いた学習、中学部では余市水産博物館やフゴッペ洞窟の見学、高等部では余市運動公園陸上競技場を活用した記録会など、保護者の方々と「ともに作り上げる」学習を展開し教育活動の充実を図っているところです。



それぞれの学部において、子どもたちの年齢や発達の段階に応じて取り組みは異なりますが、保護者の皆様と一緒に余市町という地域の中で活動することが、子どもたちや保護者の皆様だけではなく、地域の方々にとっても有意義な活動になるのではないかと思います。

これからも、私たち教職員もPTAの一員として、保護者の皆様と一緒に教育活動の充実を図っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

１・２学期のＰＴＡ活動

4	26	金	第１回役員会
5	24	金	PTA総会
8	27	火	幸せの黄色いレシート贈呈式
9	13	金	高等部記録会*
	18 19	水 木	小学部4～6年* 「円山公園に行こう」

10	2	水	PTA研修会
	12	土	イオン余市店拡大クリーン活動
11	7	木	小学部１～3年* 「みんなで楽しく体を動かそう」
	8	金	中学部社会見学*
12	5	木	PTA視察研修会
	23	月	広報誌「余友」第１号発行

＊ は、「子どもたちと地域で学び合う学習」

幸せの黄色いレシートキャンペーン

余市養護学校のボックスに投函していただいたレシート200万円から約20，000円分のイオンギフトカードの寄付を受けました。

学習や余暇活動に活用してもらおうとモルック、パズル、ディスクゴルフを購入し、2学期始業式の中で藤原PTA会長による贈呈式を行いました。

今後とも、幸せの黄色いレシートキャンペーン、ネットショッピングを利用してベルマークポイントをためるウエブベルマークへの御協力をお願いします。

詳細は、下記の二次元コードまたは、URLから御確認ください。

幸せの黄色いレシートキャンペーン
https://www.aeonretail.jp/campaign/yellow_receipt/

ウエブベルマーク
https://www.webbellmark.jp/

子どもたちと地域で学び合う学習

令和6年度PTAの活動方針「みんなが参画し、地域とともに学校づくりを行うPTA」を受け、各学部で【子どもたちと地域で学び合う学習】が計画・実施されました。

保護者の皆様も参加して行われた学習の様子と参加者の感想を紹介します。

小学部低学年　みんなで楽しく体を動かそう

1～3年生は、NPO法人よいスポ、SAFYから2名の講師を招いて、体育館で活動しました。

当日は、普段の授業とは違い、講師の進行で行われましたが、子どもたちはすぐに方法を覚えて活動することができました。転がってくるボールや上下に動くタオルをよけながら歩いたり、紅白に分かれてリレーやゲームをして、参加した6名の保護者と一緒に楽しみながら体を動かしました。

保護者の感想

一緒に体を動かし、学校での様子も見れてとても楽しかったです。

いつも顔を合わせている先生方ではなく初めて見る講師の方の説明をよく聞き、やり方を理解して活動している姿に成長を感じました。

今後も機会があれば実施していけたらいいのではないかと思います。

小学部高学年　円山公園に行こう

4年生、5・6年生と2回に分けて行った今回の学習には、合計4名の保護者が参加しました。

公園施設内を見学し、公園の遊具やふれあい交流施設内のえぞうしカフェで買い物をしました。5・6年生は、えぞうしカフェでの仕事について見学し、余市町の名産品について知り、働くことについて興味関心をもつことができました。

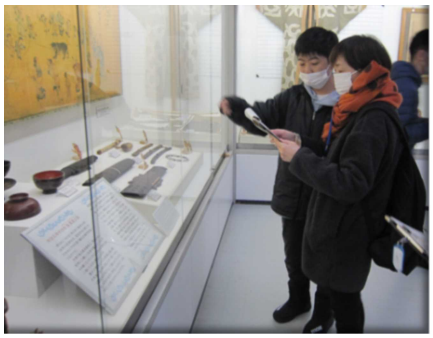
保護者の感想

普段見られない我が子の様子が見られて、すごく楽しかったです。このような機会がありましたら、また参加したいです。

子どもたちと一緒に学校から歩きました。なかなか参観では見られない様子をみることができたり、みんなで軽食を食べたりできよかったです。みんな笑顔が素敵でした。就労については、まだ本人にはピンときていないとは思いますが、見学もできて参考になりました。また、こういった機会がありましたら参加できるときはしたいです。

中学部　社会見学

余市水産博物館、フゴッペ洞窟の見学を通して余市町の歴史を学び、柿崎商店では、作業学習で納品した箸を使って昼食を食べました。参加した9名の保護者と共に、余市町についての理解を深め、日頃の学習の成果を確認することができました。



保護者の感想

社会見学に参加し、子どもたちが事前学習の成果を発揮している姿を見て感動しました。また、余市の歴史にふれることができたことが素晴らしかったです。
柿崎商店さんの箸の袋詰めを目標をもって行っていて、更なる目標ができ、その目標に向かって頑張っています。昼食も一緒に食べる事ができ、楽しかったです。また、参加したいと思いました。

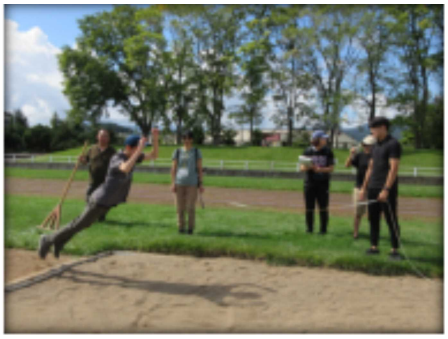
参加してとても良かったです。一緒に見学することや、食事をとることで、子どもや同級生の様子を見ることができ、帰宅してからも、体験した楽しかったこと、友達のこと、先生のことを家族で話し、子どもも嬉しそうでした。
仕事を休まなければならないので、早めにお知らせをいただければ、参加できる人はたくさんいると思います。
また、ぜひやって欲しいです。

子どもと一緒に参加し、子どもがお友達と、どう関わっているのか、先生に対して、どう反応しているのかなど、近くで見ることができて、子どもの成長と普段の様子がわかりました。家で見る子どもの様子と違い、他者を気遣う様子などを見ることができて嬉しかったです。

高等部　記録会

昨年に引き続き、余市運動公園陸上競技場を会場に、保健体育や自立活動の学習で身に付けた力を生かして100m走やフライングディスクなどの記録の向上を目指しました。

この日は、8名の保護者のみなさんがテント設営、グラウンドの石拾い、休憩時間の給水所スタッフとしてPTA活動に参加しました。



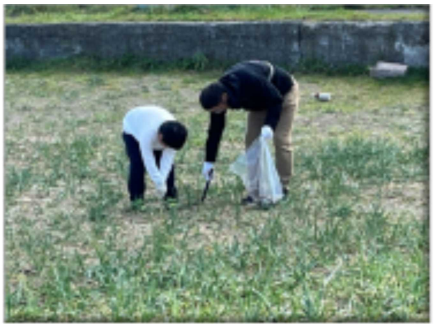
保護者の感想

今年も天気に恵まれ無事行う事ができた陸上記録会。練習の成果を出そうと頑張る子どもたちの姿は、とてもかっこよかったです。学校で練習して陸上競技場で記録会を行うのは、より目標や意欲につながり、子どもたちにとって良い経験になると思います。先生方の準備等大変な部分もあるかと思いますが、これからも保護者の協力も得ながら継続してほしいです。

高等部に進学し初めての記録会。小中学部の運動会とは違い、落ち着いた雰囲気で妙に緊張しました。子どもたちの一生懸命に頑張る姿を見て成長を感じ、来年・再来年も、より成長した姿を見られることを期待しています。

イオン拡大クリーン活動

今年も昨年に引き続き、イオン余市店の幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加している各団体が連携して、浜中海水浴場周辺の清掃活動を行いました。本校からは、5名が活動に参加しました。



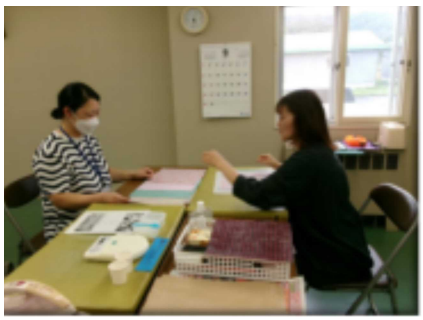
保護者の感想

時間も短く、子どもが集中して活動するのにちょうどよかったです。このような清掃活動は子どもにとって、とても大切だと思うので、また参加したいです。

PTA研修会「みつろうラップ作り」

保護者の皆様が学部を越えて交流しながら、中学部の作業学習で取り組んでいる、みつろうラップ製作を体験するという内容でPTA研修会を実施しました。

今回は、残念ながら参加者は1名のみということで、じっくりと製作体験を行っていただきました。



保護者の感想

学校の生徒さんが手作りされているみつろうラップに興味がありまして活動に参加させていただきました。

初めての体験でしたが、当日の前からこちらが緊張しないよう先生方にご配慮をいただき、純粋に楽しい気持ちをもって参加させていただきました。

活動中も何人かの先生方が様子を見にこられて、みつろうラップについて教えてくださいましたし、興味があっても使ったことがなかった私には新鮮でとても楽しい時間となりました。

生徒さんがどのような工程で作っていくのかもわかりましたし、実際に自分で作ったことで愛着もわきました。

環境への配慮の一助となるとまではいきませんが、今後の心の持ちようが少し変わった気がします。

参加者が少なくてもったいないなと感じましたが、少なかったからこその時間を持てて、大変ありがたかったです。

今回は参加者が私しかいない中、このような機会をもうけていただきまして感謝致します。

ありがとうございました。